



さくらほ 議会だより



ダンコウバイ



ドキドキしちゃった！（小学校入学式）

3月定例会のあらまし	2P
平成26年度 当初予算	3P
一般質問（10人が町政を質す）	4P～
総括質疑・平成25年度 補正予算	9P
一部事務組合 議会報告・請願 陳情	10P
委員会活動から	11P
しらかば	12P

平成26年4月24日

第36号

発行：佐久穂町議会
議長 小林守正
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成26年

3月定例会

定例会のあらまし・町の動きなど

本年2月14日より降り始めた雪が、16日に観測史上最高を記録しました。

当町でも、1メートル余りの積雪により、パイプハウスの倒壊など、農業用施設を中心に甚大な被害が発生しました。

育苗作業に支障がない様、施設復旧を最優先にボランティアも始まるなか、3月5日より18日まで、第2回佐久穂町議会定例会が開催されました。

町長の招集あいさつで、「被災農家の皆さんが、営農継続に意欲が持てるように、最大限支援する。」と述べました。

平成25年度一般会計、特別会計の補正、各条例の改正、平成26年度当初予算の審議、各常任委員会での審査が行われました。

本会議で取り上げられた議案は、条例案7件、その他案5件、補正予算案10件、新年度予算案11件、報告1件です。

国の補正、当初予算も3月20日に参議院を通過しています。交付税が半分を占める当町の財政について、注視していたところです。

平成26年度一般会計当

初予算は、「選択と集中を継続する予算」として編成。

総額85億1,100万円。収入は、

防災対策として、個人住民税均等割で、600万円増。4月からの消費税増額により、交付金1,700万円増。

支出では、新規拡充事業のうち、一、消費税増額の特別給付

二、統合小中学校整備

三、障がい児支援

四、地域活性化

五、公共施設老朽化対策

開館から10年の生涯学習館冷暖房施設改修などです。

統合小中学校建設費を除くと、例年並みの予算です。

町立千曲病院は、リハビリ棟、健康管理棟が完成し、2月26日より、リハビリ治療が開始されました。

26年度も、本館1階及び診療棟の改修や、電子カルテシステム稼働を予定し、より良い医療の提供に努めますので、御理解と御協力をお願いいたします。

条例案

一、町税条例の改正

二、町国民健康保険税条例の改正

三、町介護予防施設条例の廃止

四、町下水道施設条例の改正

五、町下水道施設事業分担金徴収条例の改正

六、町準用河川占用料徴収条例の改正

七、町古谷保養センター条例の改正

八、町古谷保養センター条例の改正

九、町古谷保養センター条例の改正

十、町古谷保養センター条例の改正

十一、町古谷保養センター条例の改正

十二、町古谷保養センター条例の改正

十三、町古谷保養センター条例の改正

補正予算

一、一般会計補正第6号

二、国民健康保険特別会計補正第3号 他8会計

支出の主なもの

○臨時財政対策債の元金償還金

○宅地造成貸付金

○国保会計貸付金

○児童手当の減

○県制度資金補償料補給金の減額

平成26年当初

一般会計

総額

85億1,100万円

前年比約8%減

事務の管理及び執行状況の点検・評価報告について。



3月定例会

第一回臨時議会

平成26年2月19日に第一回臨時議会が招集され、議案2件と報告1件が上程されました。

このうち、議案1件は、2月の豪雪に対する除雪対応のための緊急費用及び学校整備費用を財政調整基金から6,000万円取り崩す予算案でした。

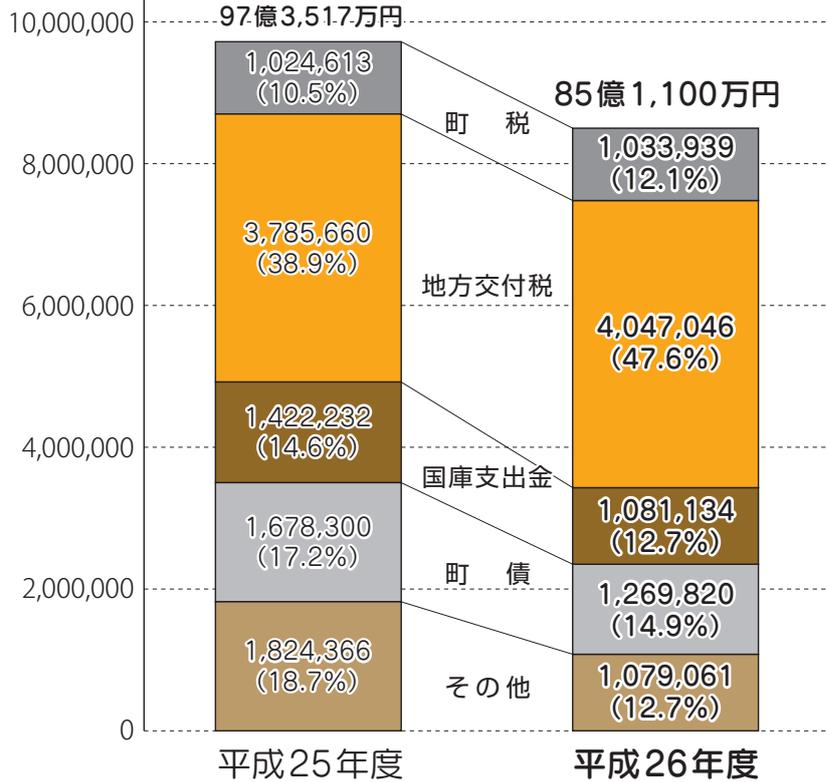
議案のうち1件は、損害賠償額を定めることについて、報告1件は、統合小中学校の変更請負契約についてでした。

議案2件とも、全員賛成により、可決されました。

平成26年度 当初予算

一般会計予算	85億1,100万円
特別会計予算(9件)	38億0,321万円
病院事業会計予算	16億8,730万円

歳入予算の比較



一般会計

平成26年度一般会計予算は、事業補助金などが予算化され、収入支出額ともに85億1,100万円、前年度比7.94%の減少となりました。

予算の減少は、統合小中学校整備事業のピークが過ぎたことによるものです。

また、各小中学校の閉校記念

事業補助金などが予算化され、合併10年目としての「仕上げ予算」となっています。

「選択と集中」という予算概念が定着してきた中で、合併11年目を迎える見据えた予算となっています。

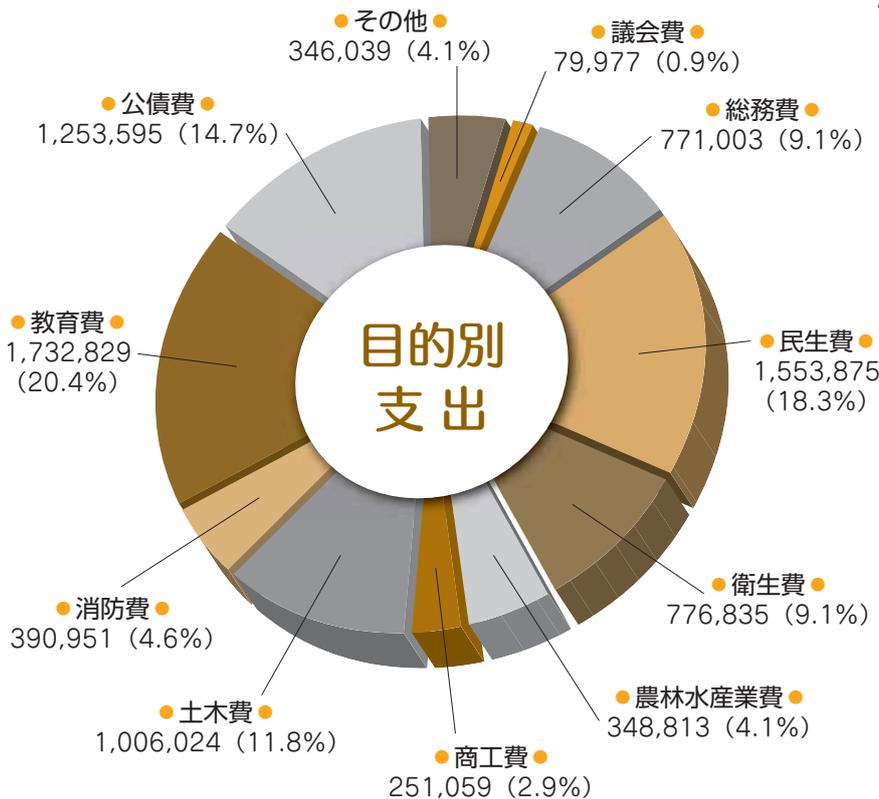
特別会計

平成26年度特別会計予算は9件あり、その合計は38億321万円、前年度比1.73%の増加となりました。

佐口地区農業集落排水を、南佐久公共下水道へ移管等を行うことにより、4,860万

円の減少もありますが、国民健康保険・介護保険・老人保健施設・後期高齢者医療の特別会計が、合計で1億787万円増加しており、高齢化社会の実情が色濃く出ています。

目的別支出



海瀬メガソーラーに対する 今後の町の対応は

町長

住民税務課を窓口にて、情報を集め
事業者への指導もしてまいります。

高見澤 研二



問 このプロジェクトは、民間事業者が25から30メガワットの太陽光発電所を建設するものですが、56ヘクタール余りの山林や農地が失われることや、地形も大きく変更されることが予想される。自然環境保全の観点や、災害防止の側面から、町は今後、どのような対応をしていくのか。

町長 事業者からの説明は大まかなもので、不明な部分が多く、町として方向性はまだ出ておりません。

問 建設予定地の地権者は、町を含む二百数十名である。事業者との交渉や協議の際に、町は佐久穂町全体の問題として捉え、適切な対応をすべきではないか。

町長 クリーンエネルギーとして歓迎する部分と、環境や災害等、危惧する部分があります。庁内で取りまとめ、連絡会議を開催してまいります。

問 事業者や地権者には、それぞれ事情が異なりますが、町には、環境保全、災害防止、町民との合意形成において、義務と責任があります。



ソーラーパネル（佐久市）

問 客観的な立場で計画事業者との間で、町が窓口になるべきではないか。

町長 住民税務課の生活環境係を窓口にて、情報収集や計画事業者への指導をしてまいります。

老人保健施設「さやか」の 統合計画について

町長

特別養護老人ホーム開設に伴い第2の特養化を改善し、本来の老人保健施設（在宅復帰・在宅生活支援施設）として運営

佐々木 正 雄



問 老人保健施設特別会計の今後の見通しは。

町長 町村合併後の平成18年の基金残高は、8,500万円だったが、その後収入不足を基金繰入金で補填を行い、平成24年度末の基金残高は1,400万円となっております。大変厳しい財政運営が予想されます。

問 統合・定数削減に至った経緯は。

総務事務長 町、千曲病院社会福祉協議会、老人保健施設の4者で、「10年後20年後の高齢者福祉の在り方」について検討を重ね、昨年11月に施設統合と利用定員を80床から58床へ削減する方針を決定し、12月の議会全員協議会で計画説明を行った次第です。

問 統合後の職員体制及び南館の跡利用計画は。

町長 平成27年度から利用定員が減少するので、正規職員の採用は当面行わず、補充については、臨時職員



老人保健施設「さやか・北館」

での対応を考えています。また、統合後の南館利用計画は、施設の保有機能から考えると福祉施設への利用が相当となりますが、それらに限定せず柔軟に考える所存です。

問 都市計画制度導入についての説明会で、参加者の反応は。

町長 導入にあたっての反対意見は、ありませんでした。接道義務についての質問や「自然環境保護、住環境整備のためにも、住民は積極的に協力すべし」といった意見が多数出されました。



空き家を利用した滞在型農業を進めては？

町長

アンテナさくほとも協調し、都会からの滞在型農業から移住へとつなげる様努めて行く

倉澤 陽一

問 滞在型農業をすすめるには、どんな策を。

町長 市民農園を設け都市部から参加を公募し、年間を通じて農業体験、里山交流体験を実施し、面倒見のよい貸し農園を展開します。

問 民間事業で、学校施設等貸し出す支援は可能か。

総務課長 提言書にいくつか利用方法がありますが、使える分であれば、お貸しできると思います。

産業振興課長 人材がいたら相談に来ていただき、検討をしていきたい。

結婚支援事業 について

問 現在の状況は。

町長 社協へ年間240万円の委託料を払い10名の相談員で事業を行っています。

問 今後の課題と方向性は。

町長 未婚率の上昇が、少子化の一因でもある。未婚者支援を行うべく努める。

町長 子育て事業と同じように、庁内に部署を設けて取り組んでは。

問 公的機関でやれば良いというものではないが、本気で若者の出会いの場を見つけてやろう、何かを作ろうという時には、行政は最大の支援をすべきだと考えています。

学校跡地利用 について

問 旧東小学校は閉校から2年が経過、利用計画は。

町長 まだ具体的な論議はしていない。地域戦略なき跡地利用はあり得ないので、町全体の将来ビジョンの中に位置づけるべきと判断し、第一次行財政改革大綱の策定に含めて進めております。町職員から選任した行財政改革推進本部事務局で会議で検討を行います。



旧東小学校

福祉行政の方向性について

町長

町地域福祉計画の基本理念を目指している

倉澤 治貴



問 高齢化が急激に進み、財政難が心配される当町にあって、千曲病院の大規模改修や老人保健施設の改修計画及び病床数の削減は、今後の福祉行政において、どのような位置づけにあり、どのような福祉社会を目指しているのか。

町長 町の地域福祉計画は、ともに支え合い、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる町を、基本理念としています。

健康福祉課長 千曲病院、老健の改修、病床数の削減は、第5期介護保険事業計画

災害時の対応 について

問 今回の記録的な豪雪の教訓を、どのように生かしていくのか。

町長 被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げますとともに、不眠不休で対応していただいた関係各位に感謝申し上げます。現在、反省点や改善点を検証しているところです。

災害からの被害を最小限にするためには、個々で取り組む自助

問 連絡網と情報伝達は。

画に基づくもので、財政上の問題、高齢化率、佐久医療センター、特養の開設等を鑑み、病院の機能強化と、老健の効率化を計るものです。

地域で取り組む共助、自治体で取り組む公助の3つが連携して対応することが重要と考えます。

総務課長 災害時における連絡網のありかた、情報の共有化と伝達方法等については、今回の豪雪を教訓とし検討します。



建設中の広域型特別養護老人ホーム

佐久医療センター開院により 千曲病院患者増予測への対応は

町長 平均在院日数の短縮、午後の
診療体制見直しで対応

小宮山 雅則



千曲病院の運営 こしごん

問 大規模改修、電子カルテシステムの導入が行われているが、経営の見通しは。

町長 町が負担する繰入金もあるが、病院としても改善していかないと、欠損金が増加すると思われる。

患者一人当たりの医業収益向上、より多くの住民の皆様にご利用いただけるような積極的な広報、地域完結型医療に向け、地元開業医や佐久病院との連携をより強化しながら、受け入れ

患者の増加による収益向上を図りたい。

改築建物部分は、LEDの照明化や温度管理の徹底、デマンドコントロールを実施しているところであり、

また、経費節減のため、窓口業務、清掃業務等については、以前から民間委託としておりましたが、今後も委託により合理化ができる業務を更に検討して行きたい。

問 学校取壊し計画も、策定されるのか。

町長 長期にわたって使途が見込めない可能性があり、使途がないと判断した場合、防犯上の観点から取り壊す必要があると考えています。

学校跡地施設 等の利活用

問 学校跡地施設等の利活用方法の提言書受理後の「基本構想」、「基本計画」策定への検討は進められているのか。

町長 基本構想を策定する際には、ある程度目的が具



千曲病院

国道・県道・特に一級河川での 不都合箇所の申込みは

町長 区長を通じて長期振興
計画で申し込みを

岩崎 正孝



問 二年前の第一回区長会で、千曲川のニセアカシヤの除去をお願いしたら、時の総務課長に「それは…」と言われました。私は勝手に行政区が違つと町では受け付けてくれないのだと思いましたが、国道・県道は都合悪ければ迂回すれば良いが、一級河川(千曲川・抜井川・大石川・余地川・大岳川・北沢川)の不都合箇所はどうすれば良いのか。

町長 区長を通じて、様々な要望事項の取りまとめをお願いし、長野県に改善要望を随時提出、また、長野県佐久建設事務所との定期に開催される懇談会でも、改善箇所の要望を依頼し、結果については、次年度予算の成立後、毎年4月に各区長に報告を行っています。

要望 区長会の初年度に不都合箇所は、長期振興計画で申し込むよう説明していただきたい。

結果 今回建設事務所への直接の要望が通り、アカシヤの除去、大石川の河床整理で概ね解決したことに胸をなで降ろしました。

問 自然環境のよい、この町への人々の呼び込みを。また、専門研究対策部門をつくる考えは。

町長 移住施策推進の拠点や、受け入れ態勢に関する課題も残り、空き家対策と共に、佐久穂町の状況に合った方策を計画し、取り組んでいきます。



河床整理された大石川



中部道等開通に伴う、北沢川の事業未着工区の今後の予定は？

町長

高速道交差までの1,600Mの改修は皆さんと一丸となって国・県に要望したい。

岡 部 勝 一

問 中部横断道、南部広域農道の開通に向け、防水防災としての、北沢川の改修工事の未着工区の対策は。

町長 中電の導水管改良は終了し、小屋竹橋の工事が平成26年度に始まり、また高速道交差部までの未着工1,600Mは、国・県へ要望しています。

問 調整池の貯水量は、現設計でだいじょうぶか。

建設課長 30年確立の基準で算出し、最大容量で、1万2,000m³を計画中です。北沢川は一級河川ですので、管理者の長野県へは、地元の皆様の意見、要望を重視し、進めています。

問 佐久穂町内2ヶ所のインターチェンジ名称の、具体案と要望は。

町長 具体案は今はありません。国土交通省から打診があり、素案を報告しますので、よい名称があれば、紹介願いたい。

問 一例ですが、「佐久穂イ

ンター」「八千穂高原インター」との意見もあります。

町長 地域の協力が、一番です。

問 「元気が出る公園」は、佐久市方面からの、受け入れ口となります。再整備も必要と考えるが。

町長 整備拡充は、開通後の動向を注視し、検討を進めます。

問 (仮)八千穂インター周辺については、どう考えるか。

町長 「ここでありるのが楽しみだ」と言われるように努力していきたい。

(他に、学校跡地利用についても、質問しました。)



改修された北沢川下流 (宿岩)

大雪による農業施設への被害対策は

町長

自家用施設や撤去のみの場合にも支援します

井 出 清 嗣



町長 販売用、自家用の区別なく支援します。新しいチラシを作成して、再度お知らせします。

問 ことも、障がい者を対象にした「福祉医療給付制度」だが、窓口で「担保金を支払わねばならず、又病院、科毎に500円も大きな負担だ。窓口で無料とするよう改善すべきではないか。

町長 制度が継続できるように、全ての受益者の方に負担いただきたいと考えます。

問 全国では39の都道府県で、どちらかの医療費を窓口無料化している。実施していないのは長野県など8県だけだ。この背景には何が窓口無料化に制裁措置を

課している問題がある。それにもかかわらず多くの県が実施しているのは、重症化の防止などのメリットがあるからだ。長野県として実施するよう、知事に要望すべきだと思うが。

町長 町の議会でも要望があったと、知事に申し上げたいと思います。



豪雪による農業ハウス倒壊

教育委員会改革案は国の干渉が強まりそうだが、見解は

町長 決まったら、それに沿って最善の努力をしていくしかありません



高見澤 春野

町長 国会で決まったら、それに沿って最善の努力をして行くしかないと思いません。

統合小中学校 に関して

問 一貫教育の学校生活がスムーズか、検証するシステムが必要では。

問 安倍政権が進めようとしている、教育再生の内容への見解は。

教育委員長 国が行うもので、審議内容など注視し、見守りたいと考えます。

教育委員会制度は、三つ意義があると考えます。政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映。これらをこれまで同様進めて欲しいと思います。

適正なクラス編成に努めます。

問 制服等で揃える費用の負担軽減は。

教育長 平成25年度から中学校入学の際、準要保護世帯の方には、制服購入費を含めて対応しています。レンタル等は考えていません。

問 児童・生徒の不安が生じないクラス編成を考えているのか。

教育長 クラス間での学力や、児童・生徒の指導面で不均衡が生じないように、さまざまなバランスを考え、



美術の授業

情報発信にSNSの積極的活用を

町長 有効な手段と考え、慎重かつ前向きに検討します

井出 正臣



問 都市計画と平行して、景観に関する規制強化を行うべきではないか。

都市計画について

問 2月の豪雪災害を教訓に、行政としてのソーシャル・ネットワークキング・サービス(S

町長 近隣市町村を見ても、景観条例の制定は近年であることから、都市計画導入を第一とし、以後、必要であれば住民との合意形成を行いながら、進めていきたいと思えます。

問 住民の財産に影響を及ぼす道路認定や、インターチェンジ周辺の建築物規制はどのように行うか。

総務課長 企画係が中心となり、宅地・農地・山林などという道路が影響を及ぼす担当部署との協議を行い、それぞれの道路の確認及び認定作業を開始しました。高速道路開通に伴う建築物規制に関しては、インターチェンジ周辺を、パチンコ店や風俗営業等の建物を規制する「特定用途制限地域」の指定を進めていきたいと考えています。

問 利用が積極的な世代との情報共有として、各保育園や「遊びの広場」などの子育て世代中心のSNS活用はできないか。

子ども課長 保護者との信頼関係を築く上でも、有効な手段だと思っているので、前向きに検討します。

健康福祉課長 有効な手段であると考えています。実験を含めて検討します。

SNSに CSN



2項道路の道路後退

総

括

質

疑

井出清嗣 議員

問 現在までの、合併特例債の発行額と残高は。

答 発行額46億6,630万円、残額は2億2,495万円です。

問 子育て特例給付金の支給基準は。

答 児童手当支給者1,266名、公務員の子育て世帯94名、合計で1,360名です。

問 統合小中学校の現在までの建設費総額と、内容は。

答 総額57億8,600万円の内、46億6,397万円が契約済みです。

高見澤研二 議員

問 臨時福祉交付金の支給対象と、内容は。

答 6月に、最終的な所得状況がわかった段階で連絡する。

佐々木正雄 議員

問 保育所職員給食費の算出根拠は。

答 職員32名の234日分、一食当たり240円で計上しました。

問 臨時保育士特別手当の算出・支給根拠は。

答 5年以上の継続雇用の臨時職員の期末手当です。

問 顕微鏡は需用費ではなく、備品ではないか。

答 学校では、備品として整理しております。

問 学校給食臨時職員の期末手当の支給根拠は。

答 長期雇用の臨時職員2名分の期末手当です。

井出正臣 議員

問 平成25年度佐久穂町老人保健施設特別会計補正予算の一般委託料の根拠は。

答 建築物の構造計算に対する基本報酬額、268万円です。

問 高齢者にやさしい、住宅改良促進事業の内容は。

答 住宅改良でないと採択されない。限度額70万円。県費は町支出の半分です。

問 プレミアム商品券の交付金、予算金額の根拠は。

答 26年度は販売金額3億円で、昨年度の実績を基にしました。

岡部勝一 議員

問 弁護士委託料、費用について、説明を。

答 月額5万円の顧問弁護士料と、国家賠償法に基づく、裁判の費用です。

高見澤春野 議員

問 花さく太鼓愛好会に対する補助金の根拠は。

答 茂来館の倉庫のエアコンの水が漏れ、太鼓の皮をいためたもので、自治宝くじ助成事業で250万円を申請、助成が決まれば直したい。

問 佐久市新斎場建設負担金の詳しい内容は。

答 総額39億1,000万円、町負担額が2億2,176万余円です。

平成25年度 補正予算

一般会計…99億7,600万円

(内 追加分633万4千円)

補正予算

一般会計(補正第6号) 633万4千円追加。

特別会計

国民健康保険(補正第3号) 2,292万9千円減額。

介護保険(補正第2号) 836万円追加。

簡易水道事業(補正第3号) 155万4千円減額。

農業集落排水事業 (補正第3号) 3,610万円減額。

住宅地造成事業 (補正第1号) 195万9千円減額。

老人保健施設(補正第5号) 349万4千円追加。

後期高齢者医療 (補正第2号)

(補正第2号)

一部事務組合 議会報告

南佐久環境 衛生組合

平成26年度
第1回定例会

●施設の建設工事委託に關する請負金額を減額する為の、協定の変更について。

- 25年度一般会計補正予算
- 25年度下水道事業特別会計補正予算
- 新年度一般会計当初予算
- 新年度下水道事業特別会計当初予算

以上5件について、全議案原案可決となりました。

佐久水道 企業団

平成26年度
第1回定例会

- 地方税法の改正に伴う条例改正
- 25年度補正予算
- 新年度予算

以上3件について、全議案原案可決となりました。

佐久平環境 衛生組合

平成26年度
第1回定例会

- 消費税法改正に伴う条例改正
- 25年度補正予算
- 新年度当初予算

以上3件について、全議案原案可決となりました。

請願・陳情

請願

請願一号
相生区ゴミステーション
施設建設を求める請願

請願者
相生区長
松田 今朝男
紹介議員
倉澤 治貴

相生区のゴミステーションの建設費用の全額を町に求めるものです。
賛成少数で不採択となりました。

陳情

陳情一号
最低制限価格の設定
に関する陳情

陳情者
長野県建築士事務所協会
会長 池田 修平
同 佐久支部
支部長 土屋 長命

建築物の設計・監理業務の入札の際「最低制限価格」を予定額の85%に設定するよう求めるもの。
不採択となりました。

陳情二号
労働者保護ルール改悪
反対を求める意見書の
採択を求める陳情

陳情者
連合長野
会長 中山 千弘
同 佐久地域協議会
議長 依田 孝彦

賛成多数で採択となりました。

自治功労者表彰

小林 武 議員 表彰される



多年、議会議員として地方自治の振興、発展のため、大きな役割を果たしていることが高く評価され、全国町村議会議長会より表彰されました。誠に、おめでとうございます。

陳情三号
「特定秘密保護法」の廃止を求める陳情

陳情者
長野県平和委員会 代表
永井光明 中澤盛雄
宮澤彰一 建石繁明
丸山 稔

賛成少数で不採択となりました。

陳情四号
集団的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する陳情

陳情者
長野県平和委員会 代表
永井光明 中澤盛雄
宮澤彰一 建石繁明
丸山 稔

賛成少数で不採択となりました。

委員会活動から

総務文教委員会

条例改正

- 佐久穂町税条例の一部を改正する条例
 - 佐久穂町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 2 条例の一部改正が、全員賛成で、可決すべきと決しました。

平成25年度 一般会計補正予算

25年度一般会計補正予算は、633万4千円の減額であり、主な内容は、歳入では、地方交付税335万5千円、基金繰入金3,000万円、財産収入1,405万7千円の増額であり、国庫支出金2,566万6千円、県支出金689万6千円の減額です。

歳出の主な内容は、災害復旧費に572万4千円、公債費に1,

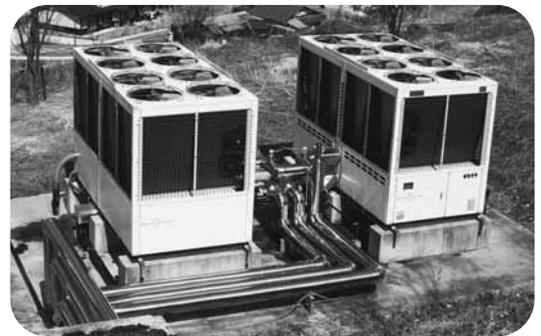


豪雪で押しつぶされた鉄骨ハウス

602万1千円、諸支出金で、国民健康保険特別会計外2会計に、5,519万9千円の増額であり、民生費3,247万3千円、教育費1,260万円、商工費720万3千円、衛生費842万4千円、消防費530万5千円の減額であり、事業確定によるものです。

繰越明許費として、統合小中学校整備事業外8事業に3億195万2千円を次年度に繰越しました。

委員会では、可決すべきものと決しました。



茂来館 空調設備

平成26年度 一般会計予算

人材育成のための職員研修に429万円、町内街灯のLED化に924万円、佐久市新斎場負担金4,645万円、子育て特例給付金1,500万円が、新規及び見直し事業です。

統合小中学校開校に向けて、スクールバス2台購入、パソコンシステム更新、小中学校閉校記念事業補助金、茂来館の冷暖房施設改良工事の予算が計上されており、委員会では、全員賛成で可決すべきものと決しました。

経済福祉委員会

障がい児の放課後の居場所 デイサービス事業開始される

障がい児の放課後、長期休暇での居場所が欲しいとの、かねてからの要望が実現します。旧しらかば作業所を改築し、地域活動支援センターとともに開設されます。6月開設予定です。

親子ともども安心出来ることを願っています。

また「かゆいところに手が届く」運営に努めていただけでなく、願うものである。

障がい児の放課後、長期休暇での居場所が欲しいとの、かねてからの要望が実現します。旧しらかば作業所を改築し、地域活動支援センターとともに開設されます。6月開設予定です。

親子ともども安心出来ることを願っています。

また「かゆいところに手が届く」運営に努めていただけでなく、願うものである。

(付帯意見)

老人保健施設会計に意見を付けて賛成。

事業計画の面で将来的な甘さがあり、予算編成では不信感を持たれる内容がある。また、病院の大規模改修のしわ寄せが来ているように思われる。それぞれ対等の立場で運営されるもので、町全体で考えて行くべきで、一部にしわ寄せがあつてはならない。

南館を病院部分とする計画であれば、それ



地域活動支援センター（宮前）



山村テラス

岩下大悟

佐久穂町大日向746-1
moraiya2014@gmail.com
090-5490-8401



この4月にオープンしました「山村テラス」の岩下と申します。

私たちは、「里山暮らしの発信&体験」や「里山の住空間づくり」を行っていきます。

私は、旧浅科村（現佐久市）で生まれ育ち、野山に入っては秘密基地を作って過ごす日々を送りました。



月日が経って24歳の時、茂来山がよく眺められる大日向の里山に、地元仲間たちと手作りの小屋を建てました。

ライフラインは一切きていないため、電気は太陽光発電でまかない、水は湧き水や沢の水を引きました。そんなふうの皆で小屋で過ごしているうちにすっかり里山の魅力に取りつかれ、この楽しさをもっとたくさんの人と共存したいと思、「山村テラス」を立ち上げました。

今後は、この小屋を拠点に、里山整備、農作業、山菜採り、植物アロマ作り、ドラム缶風呂、漬物など、さまざまな里山暮らし体験を企画していきます。

また、森の映画祭、キャンプ、ドルナイト、星空観測会など、各種イベントも行う予定です。

地元の人、県外の人、海外の人など、いろんな人たちが里山の時間や暮らしを分かち合う中で、新たな交流やつながりが生まれは

と思っています。

と、偉そうなことを言っても、私たちは里山暮らしを熟知している訳ではありません。ぜひ、地域で受け継がれてきた知恵や技術、伝統について、皆様からご指導頂きたいです。

小屋では、お茶やコーヒーも飲めますので、お気軽に遊びに来て下さい。

閉会中の
議員活動

12月～3月

- 12月
 - 佐久広域連合議会定例会
- 1月
 - 商工会経済講演会
 - 新春賀詞交歓会
 - 消防団出初式
 - 長野県地方自治政策課題研修会
 - 正副議長、正副常任委員長研修会
- 2月
 - 人権フェスティバルin佐久穂
 - 佐久平環境衛生組合議会定例会
 - 佐久病院佐久医療センター竣工式
 - 佐久水道企業団議会定例会
 - 南佐久環境衛生組合議会定例会
 - 県町村議会議長会定期総会
- 3月
 - 佐久地域づくり講演会
 - 千曲病院経営審議会

次回定例会は 6月5日(木)～6月17日(火)の予定です。 多くの皆様の傍聴をお待ちしています。

野山の芽ぶきも始まり、青々とした里山がきれいに見える季節となって来ました。地元には見慣れた風景を、町外の人達から教えてもらう事が多々あります。

昔、学校の帰り道、わざわざ遠まわりをしたあぜ道や土手で、タンポポやつくしを取ったり、水辺でカニやメダカを取った思い出、探険しながら帰った事もありました。

そんな里山を素晴らしいと感じて訪れてくれる人達がいま、アンテナさくほでも、農業をしながら自然と親しむ里山の魅力を感じるグリーン・ツーリズム、着地型観光の試みを行っております。

ジバ共和国の農園で指導を受けながら、種まきから収穫まで、育てる喜びを体感できます。

農業体験、里山散策におとずれた人達に、明るく元気にあいさつし、共に地元の良さを再発見できたらと思います。一人でも多くの人に来ていただけるよう、地域のお力添えをお願いいたします。

